

平成28年5月12日

各位

会社名 東亜バルブエンジニアリング株式会社
代表者名 代表取締役 真鍋 吉久
(コード: 6466、東証第二部)
問合せ先 取締役管理本部長 飯田 明彦
(TEL. 06-6416-1184)

平成28年9月期中間配当に関するお知らせ

当社は、平成28年5月12日開催の取締役会において、平成28年3月31日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)を下記のとおりとすることを決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容(中間期末配当)

	決定額	直近の配当予想 (平成27年11月12日公表)	前期実績 (平成27年9月期中間)
基準日	平成28年3月31日	平成28年3月31日	平成27年3月31日
1株当たり 配当金	15円00銭	未定	0円00銭
配当金総額	35百万円	—	—
効力発生日	平成28年6月20日	—	—
配当原資	利益剰余金	—	—

2. 理由

いわゆる3.11による原発事故以降、当社の事業環境は一変し、第15期(平成26年9月期)には多額の赤字を計上するに至りました。そして、このような状況を背景に、中間配当については第14期以降中止を余儀なくされ、また、各事業年度の配当予想についても、当期を含め、すべて未定と公表してきたところです。

しかし前期(第16期・平成27年9月期)は、原発の再稼働準備関連による一時的な売上増加が要因ながらも黒字を達成することができ、当期についても、現在のところおおむね期初業績想定通りに推移しており、これまでの固定費削減効果もあって収益性は格段に改善していることから、再度、第15期のような多額の赤字を計上するといった事態はあまり想定されないところにまで回復していると判断しております。

当社は、安定配当を旨とした利益分配の基本方針に則り、これまでも継続して期末配当を実施してまいりましたが、以上のような状況から、当期からは中間配当について再開することとし、その額は一株あたり15円とさせていただきます。

なお、期末の配当につきましては、下半期の業績になお不確定要素を抱えることから、当期決算の状況を見極めたうえで最終決定をさせていただきますので、引き続き未定とさせていただきます。

以上